



令和2年(2020年)第22週 2020年5月25日(月)~2020年5月31日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



厚生労働省ホームページ「E型肝炎ウイルス」

## ● E型肝炎について

今週はE型肝炎の報告が1件ありました。E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(hepatitis E virus、以下「HEV」という。)の感染によって引き起こされる急性肝炎(まれに劇症肝炎)で、慢性化することはありません。

### ◆どんな病気?

- ・病原体…E型肝炎ウイルス
- ・感染経路…経口感染で、HEVに汚染された食物、水などの摂取により感染することが多いとされています。ヒトからヒトへの感染については、くしゃみなどによる飛沫や接触による感染は報告されていませんが、輸血による感染例が報告されています。
- ・潜伏期間…2~9週間(平均6週間)
- ・臨床症状…発熱、全身倦怠感、食欲不振、吐き気・嘔吐といった症状が見られ、数日後に黄疸がみられます。症状が軽い場合もありますが、妊婦では通常よりも重症化することがあります。
- ・治療…特別な治療方法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。安静と食事療法が基本となります。劇症化した場合には、さらに血漿交換、人工肝補助療法、肝移植などの特殊治療が必要となります。
- ・感染の特徴…一過性の感染でキャリア化はありません。
- ・稀に劇症化することあり、妊婦がHEVに感染して発症した場合には、劇症化する率が高いとされています。
- ・人獣共通感染症と認識されている唯一の肝炎ウイルスです。

E型肝炎患者報告数

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2) R2.5.31現在
全国	212	356	305	446	493	212
熊本県	1	2	2	1	3	1
熊本市	1	0	0	1	1	1

### ◆予防法は?

・HEVの感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された食物、水の摂取により感染することが多いので、予防には手洗い、飲食物の加熱が重要です。E型肝炎流行地域へ旅行する際は、清潔の保証がない飲料水(氷入り清涼飲料を含む)、非加熱の貝類、自分自身で皮をむかない非調理の果物・野菜をとらないように注意する必要があります。動物の内臓、豚レバーをはじめとする豚・イノシシ・鹿肉などについては、**生で食べず加熱調理の際には中心部まで火が通るよう十分に加熱することが重要です。**食べる前の調理の段階でも、皮膚の傷からウイルスが体内へ入ることのないよう注意してください。ワクチンは開発段階です。

期 間		2020年 21週		2020年 22週	
		5/18~5/24		5/25~5/31 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	1	0.06	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	4	0.25	11	0.69
感染性胃腸炎	➡	14	0.88	26	1.63
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	2	0.13
手足口病	➡	3	0.19	3	0.19
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	1	0.06
突発性発しん	➡	11	0.69	12	0.75
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	6	1.20	2	0.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00